

【刊夕】日三月二十



先部一錢五錢郵五厘  
料告廣 五料五 號三十字一 行五 一 五 五  
發售 發行所 東京 市 日 本 橋 區 本 町 三 丁 目  
電話 〇三六話電 社聞新日每警常 所行發  
印刷 印刷部 印刷株式會社

ありがたき一言

白木 英尾

謠曲の「鉢木」は誰も知つてゐる有名なものだが、その中に次ぎのやうな主客の言葉がある。

「ちかごろよき火にあたり寒さを忘れて候」  
「おん出でにより我らも火にあたり候」

北條時頼の最明寺が身をやつして修行の旅に出る。そして大雪の降る夕ぐれ、  
「あまりに見苦しく候ほどに」と断る佐野源左衛門の家に、無理に頼んで泊らして貰ふ。主人は貧しい粟の御飯を出したりして親切を盡すが、次第に寒くなるので、「今夜のおもてなしに」と言つて旅僧の止めるのも諾かず、秘藏の鉢木を煮り火に焚いてあたらせる。此處で最明寺がお禮を言ふとそれに對して主人公が静かに答へるのが、この「おん出でにより我らも火にあたり候」の唯一言である。

作者は此處で、「いや／＼これは苦しからず候」などは言はせてない。私はこれを読んだら聴

より物

懇意の若者が遊びに来て「雨外套を買ひました」といふので「どんなの?」

と訊くと、無難作に「よりですよ」「より?」よりつてどんなの? 「十六圓よりつて書いてあつたので、そのよりつて奴をくれたつて買つて来たんです」



俳句

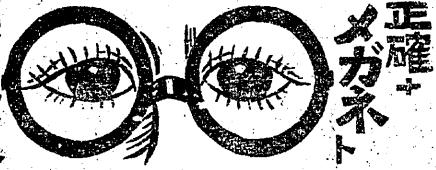
相馬 館岡春堂  
松川の松の古昔は萬年か  
松川や中洲の松の古昔哉  
田の草をとる娘の唄や風涼し  
大空に悠々おとる鯉のぼり  
松蔭の松川浦の眞帆片帆  
日がくれて雀の唄や秋暮し  
道近く思ひ遠し山の中間

理想的耐水耐熱接合劑 キング・パスト

●水か微温湯で溶せばすぐ使へる簡単な膠着劑  
一名コナニカワ  
●四季を通じて一度ついたら膠着力は絶對的です  
●理想的完全耐水耐熱の可驚威力を發さし防腐の効果著し

小野屋薬店

電話一四四番



正確メガネ  
無料検眼  
各眼科院御用

外科、内臓外科  
耳鼻咽喉科  
山村醫院  
双葉郡浪江町  
電話一四四番

科病柳花・科兒小・科内  
院醫沼藤  
應需院入

町屋紺町平電  
番七〇五話

旅館 一力  
浪江驛前

耳鼻咽喉科専門

場所 舊診療所裏通り

合津醫院

平町仲田町 電話五五九

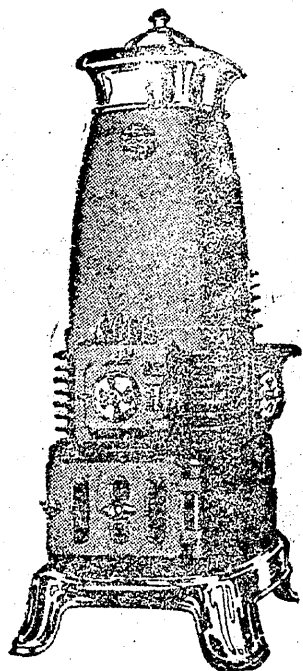
皆様のスピードの御用命は

電三四三番へ  
使用車は三〇年式  
セダン型です

何卒御用命を願ひます

昭和タクシー

嚴冬——征伏の王者



▼ストーブは フクロクストーブを御選定下さい

一、最も安い石炭で最も良く燃えるストーブは  
フクロクの右に出づるものはありません  
二、石炭商の立場りよ各種のストーブを厳密試験の結果  
始めて理想的フクロクストーブを見え出しました  
御希望の方へカタログを持參して御説明申上ます何卒御下命を……  
平 停車場 前

福島縣總代理店

阿部石炭商店

釜屋商店

磐城セメント會社特約店  
磐城平町五丁目 電話九番九九番  
△良品廉賣に勝る商略なし  
△確實敏捷は釜屋の生命なり

美味、滋養

シュークリーム

一ツ五錢

目丁四平  
ヤトモツマ  
番四一二話電

### 新年文藝懸賞募集

初春の紙を飾る  
締切 十二月廿日  
用紙 官製はがき  
宛名 本社文藝部

和歌 『山』 一人各三首限 高久晚霞氏選

俳句 『春着』 『若菜』 一人各三句限 渡邊何鳴氏選

童謡 『正月』 一人二篇 川崎小鳥氏選

詩 隨意 一人二篇 片寄耿二氏選

短歌 『光』 一人五首限 白木英尾氏選

●投書には『新年文藝』と種目とを必ず明記すること  
●入賞者を一名 二名 三名  
●三等二名に分ち各賞品を呈す

## 鐵道への納炭がへり

### 運賃値下も可能性なく

#### 炭礦界の苦難未し

鐵道省では縣南常磐炭礦の各礦務所に就いて過般來の嚴密な業績調査を行つてゐるが右は六年度鐵道納炭契約に對する準備調査であつてその結果如何は直ちに納炭に至大の影響を齎すので炭礦側では同調査の内容を注目してゐる

より一噸當り九圓五十錢に納入して居不況の折柄その方面によつて炭礦界は辛うじて一息付いてゐる状態であるが明年度に於ては鐵道當局でも一割五分方の減價豫算を目論まれておりその上鐵道減收等から問題の石炭運賃値下等も到底實現の可能性があるかない有様である

## 手控へ

### 難局打開に善後策懇談

常磐地方の大炭礦が炭價の暴落と貯藏炭とを調節し經營を緩和するため實施してゐる送炭二割二分制限は實施以來相當の影響をもたらしてゐるこの送炭制限はほとんどの大炭礦のみで二十有餘の小炭礦は依然として出來る限りの大量生産方針でこの結果は炭價が益々暴落濫賣のさらひがあり共倒れの苦境に陥ることも懸念されこの程大炭礦側で小炭礦も送炭制限を實施しこの難局打開の善後策を懇談し各炭礦も近く相當の送炭を手控へすることにまつた

## 農閑期利用

### 技術的指導を

石城郡農會では縣の指令に基き農家經濟の行づまりを打開すべく農閑期を利用し技術的指導を施ふるの緊要

であることを認め郡町村農會擔任技術員に左記方法を實施すべき様通牒した

- 一、肥料に關する事項については左記方法を奨勵すること(イ)堆肥の原料を蒐集する(ロ)草木灰の處理(ハ)レンゲの管理
- (ニ)土壤含有肥料分の蓄積
- 二、水田二毛作の管理
- 三、簡易土地改良の施行
- 四、水田の秋耕實施、桑園整理地經營の準備(イ)土地の狀況に鑑み水田利用、畑地利用の場合には春

## 平驛から關西

### 神詣で列車を

直通のボギー車十輛  
明春二月に運轉

神詣團體の便宜を圖るため水戸運輸事務所では京都、大阪、伊勢、桃山、二見、奈良等神詣りの直通臨時列車(ボギー車十輛)を明春二月から運轉することとなつたが平驛に於ける臨時列車の發車は六年二月二十七日午後一時四十分で同驛では今から大馬力をかけ神詣で團體を募集してゐるその要領は左の如くである

## 無電協定

### 愈よ始まる

既報静岡以北太平洋岸七縣の漁業無電協定放送は一日から實施したが午前午後二回共各濱の漁船は入港でもまた海上に出動中も極めて疎に混線することな

## 平町の平

### 曲騷狂末歲

平町にも歲末氣分が漲りはじめた、街へはき出る人も忙しさの裏に「どうして切り抜け様」とのなやみに一抹の暗影がひそむのであることは察するにたたくない。驛前にむらがる人力車屋、自動車屋、旅館客引等々、何れも眼を皿の様にしてこの歲末を無事に過すべく、一人づつでも半人で

もよけいに稼ごうとする雄々しくも寒風をおかして戦を續けてゐる様は狂はしい、遙に超スピードである、かくも惡戦苦闘を續け而して踊らねばならぬスピード三十年歲末ではある、汝歲末よ、吾人を何處へ赴かしめやうとはする？ (續く)

## 平町人事

### 出生

- △立町五七 當時朝鮮全州面小野 寺松雄氏三男秀雄
- △才越小路五 村上清氏二男孝治

## 常磐片々

商店街が歲末對策急りなく、懷中をねらう者豈ただスリとボン引のみならんや  
顧客の懷中、緊縮でタン  
此の寒空を青森から徒歩金が無ければこそ出來た業なり  
神詣で列車、御利徳は鐵道省

## 三千五百圓を

### 代書人が拐帶

#### 農銀平支店から

#### 委任狀で引出す

石城郡上遠野村代書人上遠野某は村内の某に依頼されて土地抵當に農工銀行平支店から金三千五百圓を借入るゝに當り實印を預つたのを奇貨として借入人の委任狀を作製し農銀支店からマンマと引出した金三千五百圓を拐帶山形縣に逃走せり其筋にては上遠野の行衛嚴探中である

# 緊縮で貯めこんだ顧客の 購買力十分と

## 見てもつた商店街が 勇み立つて歳末策戦 暖かいボーナス月

今年もはや十二月に入つて平町の商店街では歳末対策に肝膽を砕いてゐる、不景氣の聲に脅かされて先月中旬から開始された某店の歳拂が大賣出し等は多數の客を呼び賣上げ高も豫想外に多額となつて昨年同月の歳拂ひの賣上高の五割も増し

## 秋刀魚寒流に追はる

### 手具すね引いて待つ 七濱の漁師連が悲觀

磐城七濱沖合にかけて今年のは寒流が例年より早く流れて來た爲め、何時もなら大漁續きであるべき秋刀魚が少しも姿を見せず折角手具を引いてまつてゐた七濱の漁師連は悲觀してゐる、右について小名濱の縣水産試験場では例年なら十二月下旬までは十八、九度の暖流が流れるのに今年は珍らしくも十二、三度平均の寒流が押寄せたため折角茨城沖合まで來た秋刀魚が磐城沖まで來ないうちに方向を轉じ逸散してしまつた、こんな事は何年にもない現象だ或はこれつきりで今年も磐城沖に姿を現はさぬかも知

## 茨城が乘氣

### 本縣の態度 如何を注目

福島、茨城兩縣界の國道勿來隧道擴張工事は去る四年度本縣の提案で茨城縣に交渉の結果該トンネル内の境界標を基準に總延長二十六メートル二の内本縣が十三メートル五、茨城縣が十二メートル七で總工費三萬圓を按分比例で本縣が一萬八千圓、茨城縣が一

一日縣保安課の石坂技手出張検査の結果營業及貨物總數二十三臺の内全部合格成績良好であつた

## 生いぬゾ

### 石城の麥作

石城地方大小麥作況をみるに早まきのものは三四寸位成長し第一回の中耕も終り成績非常に良好だが一方にはまだまき終らぬところもあるので團体事務所橋本技手が毎日の如く出張奮勵してゐる、百姓ののん氣さもこゝまで來ると度を過ぎしすぎてゼロになりやしないかと同所農作物係りでは案じてゐる

## 無免許運転

### 乗合自動車

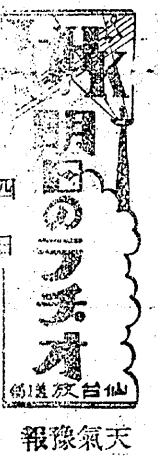
平町才地小路菊地自動車部見習助手茨城縣東茨城郡大貫村山實(七)は二日前十一時頃石城郡小川村地内を無免許で乗合自動車運転中発見本日平署で取調中

## 故郷が急に戀しく

### 青森から徒歩で

### 北海道で食ふやくはす 火の無い待合室に

住所不定鹿兒島縣生れ三間俊雄(三)は北海道で雜業に従事して居たが昨今の不景氣に食ふや食はずの生活のみ續く爲め急に故郷が戀しく



北西の風情

前七、〇〇 ラヂオ体操  
前九、〇〇 氣象通報  
前九、一〇 料理献立「デザート」  
及川梅子  
前二、〇〇 講演「世界各國に於ける國產愛用運動」日本商工會議所主事 依田信太郎  
正午 時報  
後〇、〇五 吹奏樂 大坂市音樂隊 指揮林豆

## 丁度食ひ加減だと ツルシ柿をへろり

### 怒つて平署へ訴へ出たが 證據がなくて大困りの体

秋も過ぎた節物のツルシ柿がそろそろ石城地方には名物のツルシ柿が澤山産出されるのでこの餘波を受けて平町地方の家庭ではどこでも五十レン百レン位のつるし柿が干して置くのだがこの頃丁度喰ひ加減に乾上がつて來たので夜陰に乘じて屋根から屋根へ渡り歩いてこれを

## 補充教育

### 在郷軍人分會にては本年度入營兵並に第一、二補充

## 度量衡、計量器、吸入

### 用酸素、酸素吸入器

## 關内藥局

電話四〇番

忠藏  
後七、〇〇 ニュース  
後七、二五 講演「交霊現象と怪音の問題」小熊虎之助  
後八、〇〇 紫色「俳優座談會」櫻川長壽  
後八、三〇 義太夫「御所櫻堀川夜討」浮瑠璃 淺香三味線 豐竹呂重  
後九、〇〇 常磐津「伊賀越道中双六」淨瑠璃常磐津文字島 同常磐津三代 春 三味線常磐津文字島  
後九、四〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組廣告 告知事項

後〇、四〇 ニュース  
後二、〇〇 婦人講座「自治と婦人」第四 東京市政調査會理事 池田宏  
後三、四〇 氣象通報  
後四、〇〇 (子供の時間)  
管絃樂「アメリカ民謡集 其他」東京ラヂオオーケストラ 指揮 平野主水  
後六、三〇 英語講座「中等科」第六講の二 全田の旅費を與へて旅立たせた

## 豐間有志出福

郡豐間村の志賀村長、遠藤漁業組合長其他は開會中の縣會に漁港實現の猛運動を試むべく本日福した

## 四倉漁港陳情

郡四倉町では目下縣會に提案されてゐる漁港修築通過を運動することとなり新妻町長外築港期成同盟會幹部四名は一日出福した

## 入營兵

平町在郷軍人分會にては本年度入營兵並に第一、二補充

## 窃取逃走

する怪しからんいたづら者が非常に多くなり、二階長屋の家などは五十レンあつたやつが明朝になると二十レン位に減つてしまふそうだ、平町南町某氏は憤慨して 二日平署へ



東京橋場刺劇 (米田安藏)

安藏が刺劇を運んで、神谷町の自衛番へ乗込んだのは、芝居内の森の鴉がガア／＼鳴き、東西に羽根を飛ばして飛ぶ、夜の明明けの頃であった。

「お早う……大きに厄介を掛けました」と安藏が戸口を覗くと。「三十間堀の線分ですかへ、御苦勞様でございます」と若い者は出迎へた。

「家の若いものが、外へ一人出て置いて置いたさうだが、夫れで出て来たのだ。」

「オイ目出だ、何だ自分門だつたかな」「是りやア大層な事になつちました、家主は幸右衛門でござい、飛脚で御用になるのか、カラ少しも覚えがねへので、近頃は……」

目出松は二十五、六、ズツと背の低い、瘦きすて色の澤黒い、目出松は松の云ふ事など身にも掛りて使ひに出したら戸を明けると、門前に來て呉れ、其方がハカ

て總は命用御の物刷印 番〇三六話電 會株式刷印日每警常

冬のサロン 暖房装置完備しました 暖かいお飲物 暖かい御料理 洋食通りの季節になりました

ドウゾ御来店を…… イワキサロン 田町 電三五二番

ヨウ！モータン！ いゝ服を求めたね 断然三〇年型だよ 正札堂

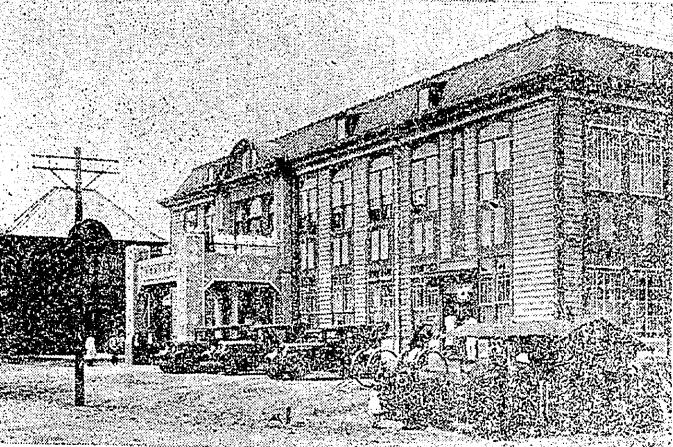
看護婦急派 の求めに應じます 平町南町 平看護婦會 電話三〇七番

花柳科専門 木村外科醫院 入院自炊の便あり 平町五丁目橋際 電話三〇九番

江戸前 うなドン 八十錢以上 かばやみ 壹圓以上 大勉強仕出迅速致升 魚 榮 電話四二四番

美佐男御召と 優秀銘仙陳列特賣 三井呉服店

磐城共濟病院案内 本院は時局に鑑み八月一日より入院料並に往診料左の通低減致候間御参考迄申上候 入院料 一日(本會員) 金貳圓也 金壹圓五拾錢 往診料 本院長及其他(本會員) 金參圓也 金貳圓也



院長 醫學博士 難波 睦 本院 主管 賀澤 忠治

衛生試験所 病氣相談所 救療所 共濟病院内 昭和五年九月 磐城共濟會 平町 電話六四一番